

令和5年7月5日、明合小学校で「認知症キッズサポーター養成講座」が開催されました。



(福島先生)この講座を通して、
自分たちに「何ができるか」を考えるきっかけにしてほしい。

安濃町の人口約 10,000 人 高齢者は約 3,200 人

認知症ってなあに？

認知症は、
さまざまな原因で脳の細胞が死んで
しまったり、働きが悪くなったりするた
めに起こる「脳の病気」です。

安濃町 明合小学校 6年生 認知症キッズサポーター養成講座



津北部西地域包括支援センター
のみなさん



認知症の人への対応の お約束「3つのない」

- 1 おどろかせない
- 2 急かさない
- 3 心を傷つけない



※やってみたくて
もむずかしいと
思ったら、近くの
大人にたのみま
しょう。

「真夏の学校の帰り道に道ばたに座り込んでい
るお年寄りを見つけました。」

質問: はなしをしてみますか。

「はい」: はなしを試してみる

「いいえ」: はなしをしない

「はい」「いいえ」を選び、なぜそれを選んだ
のか班ごとに話し合いました。

(はい)心配だから声をかける。
その人に何かあったら困るから。
熱中症の可能性があるから。など

(いいえ)知らない人だから。
こわい人かもしれないから。など



「はい」か「いいえ」を選んで、選んだ理由を出し合って、班ごとに話し合いをしている様子

(社協の思い)

DVD 鑑賞、講話、お話を聞いて考える時間、若年性認知症の人のお話から、
「認知症がどんな病気か」、「認知症の人の気持ちを理解し、どのように接したらいいか」を勉強しました。
認知症の人だけでなく、困っている人がいたら、
声をかけてほしいです。

生活支援
コーディネーター通信
※生活支援コーディネーターは
地域のみなさんとともに地域
での支え合いの仕組みづくり
に取り組んでいます。

令和 5 年
7 月 18 日
Vol.32

